

8年間の実績を活かし、安心・快適なまちづくりをさらに進めていく。それは私の責務であり使命

遠田 孝

荏田町長

「まちづくり」は、町民の皆さん、議会、職員と力を合わせて進めるもの。町長ひとりの力では成し遂げることはできません。

町民の皆さんの声に真摯に耳を傾け、その想いをまちの未来へとつなげていきます。寄せられた声を、町の魅力へと進化させる——それが私の使命です。

PROFILE

遠田 孝一（とおだ・こういち）

1951年生まれ。荏田町出身。京都高校卒業、北九州市立大学地域創生学群卒業。JR九州を退職後、荏田町議会議員2期6年、荏田町長2期8年を経験し、10月26日に行われた荏田町長選挙で3期目に就任。モットーは「現場主義」。

Special Interview

10月26日に行われた荏田町長選挙を経て3期目に就任した遠田孝一町長。「きらりと輝く誇れる町に」をビジョンに掲げ未来を描く、3期目の町政を任されたリーダーに荏田町への想いと展望を聞きます。



3期目への挑戦 新たなスタート

——3期目のスタートを迎えて、今の率直なお気持ちを聞かせください。

皆さまの期待の大きさを改めて感じています。これからの4年間、荏田町のさらなる発展に全力で取り組んでまいります。

2期8年が生み出した実績

——これまでの8年間を振り返って、どのような成果があったとお考えですか。

この8年間は、荏田町にとって着実な成長の時期でした。小中学校へのエアコン整備、学校給食の無償化、高校生への医療費補助——子育て世代への施策は次々と実を結びました。同時に、公共施設の老朽化対策やデジタル化推進、健康づくり支援など、町の基盤強化も並行して進めてきました。財政力指数は県内1位、2024年度の自治体経営力ランキングでは全国第10位という結果を生み出しました。3期目では、これまで種をまいた事業が花開くことができるように進めていきます。

「きらりと輝く誇れる町に」への道筋

——「勢いのある町」と評価されるようになった荏田町。その勢いをさらに高めるために、町長が大切にしていることは何でしょうか。

子どもたちが笑顔でいること。高齢の方が穏やかに、元気に暮らせること。そして、ここで働き、ここで暮らす人たちが「この町に住んで良かった」と心から思えるまちづくり——これが目指す姿です。町民の声に耳を傾け、議会の提言を受け止め、役場職員と知恵を絞りながら政策を磨き上げていく。その先に実現するのが、「きらりと輝く誇れる町に」です。

——最後に、町民の皆さまへ、メッセージをお願いします。

荏田町をもっと人に優しい町にする。町民、議会、企業の皆さまとベクトルを合わせ、さらに発展させることが私の使命です。そして、次世代にいい形で引き継いでまいります。

3期目の遠田孝一町長の挑戦が、今始まります。